

2025年12月30日

各位

会社名	株式会社メタプラネット
代表者名	代表取締役社長 サイモン・ゲロヴィッチ (スタンダード市場 コード: 3350)
問合せ先	IR 部長 中川 美貴
電話番号	03-6772-3696

ビットコイン・インカム事業の2025年12月期第4四半期業績および同事業の 2025年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年12月期第4四半期および2025年12月期通期におけるビットコイン・インカム事業の業績についてお知らせいたします。

ビットコイン・インカム事業は、ビットコインデリバティブを活用して継続的な営業収益を創出するとともに、中長期的なビットコインの蓄積を支援することを目的としています。

記

1. 2025年12月期第4四半期 ビットコイン・インカム事業の業績および運用状況

当社は、2025年12月期第4四半期において、ビットコイン・インカム事業で4,242百万円の売上高を計上する見込みです。

2025年12月期通期において、ビットコイン・インカム事業の売上高は8,581百万円となり、従来予想の6,300百万円を大きく上回る見込みです。当該事業の収益成長は年度を通じて加速しており、四半期売上高は2024年12月期第4四半期と比較して6倍超に拡大する見込みです。また、2024年12月期第4四半期から2025年12月期第4四半期にかけて、四半期ベースの複利成長率は約57.4%となる見込みです。

(1) ビットコイン・インカム事業売上高の内訳

ビットコイン・インカム事業にかかるポートフォリオ内で保有されるビットコインは、日本基準（J-GAAP）に基づき流動資産として区分されています。本事業において認識される収益は、ビットコインデリバティブに係る受取オプション料、実現損益、ならびに当該ポジションに係る期末時点での評価損益を反映したものです。一方、長期保有を目的とするビットコインは、ビットコイン・インカム事業とは区分して管理され、長期にわたり保有することを前提としています。長期保有ビットコインの評価損益は、ビットコイン・インカム事業の売上高には含まれません。したがって、上記の売上高の内訳は、四半期中のビットコイン・インカム事業の経済的パフォーマンスのみを反映しており、長期保有として組み入れられたビットコインについては、ビットコイン総保有額および関連するビットコイン指標に反映されています。

ビットコイン・インカム事業の四半期売上高の概要

	売上高（百万円）	前四半期比
2024年12月期第4四半期	691.6	—
2025年12月期第1四半期	770.3	+11.4%
2025年12月期第2四半期	1,130.6	+46.8%
2025年12月期第3四半期	2,438.0	+115.7%
2025年12月期第4四半期（見込）	4,241.8	+74.0%
2025年12月期通期（見込）	8,580.7	—

注1：米国における売上高は、2025年12月26日付の為替レートを適用しており、最



終的に変動する可能性があります。

(2) ビットコイン・インカム事業の当初見通しと通期着地見込

項目	当初見通し (2月 10 日時点)	修正後見通し (10月 1 日時点)	2025年12月期通期 見込
売上高	30 億円	63 億円	86 億円

2. ビットコイン・インカム事業と資本配分の役割

ビットコイン・インカム事業は、専用のポートフォリオにおいて、担保を確保したビットコイン・オプション戦略を通じて行われます。すべてのオプション引受（売却）取引は、このポートフォリオに割り当てられた資産の範囲内で実施されており、当社の長期保有を目的としたビットコインとは運用及び管理の両面で明確に区分されています。

長期保有を目的とするビットコインは、オプション取引の影響を受けず、永続的に保有することを前提としています。ビットコイン・インカム事業のポートフォリオに割り当てられた資本は、オプション取引サイクルの終了後、当社の継続的な積立戦略の一環として、長期保有ビットコインに組み込まれる場合があります。なお、長期保有されたビットコインは、ビットコイン・インカム事業に再分配されることはありません。

このような運営体制を通じて、ビットコイン・インカム事業は、継続的な売上高（キャッシュフロー）を創出することで当社の資本戦略を支えるとともに、優先株式などの資金調達手段を安定させるための長期保有ビットコインの形成にも寄与しています。

3. 今後の見通しについて

本件による2025年12月期の連結業績予想に与える影響については、その他の要素も含めて現在精査中であり、判明次第、速やかにお知らせいたします。

以上